

知ってナッゲ

みんなの安心

防災安全課 地域安全係 ☎・内線 1262
消防防災係 ☎・内線 1264

防災安全課から地域安全と消防防災に関するお知らせを月号から毎月掲載します。

交通安全 黄色い羽根と安全願う 岩手県発祥のPR活動

春は、入学する児童や自転車で通学する生徒が増える季節です。自動車の運転免許を取得したばかりのドライバーも増加し、事故の危険性が高まる季節でもあります。

4月6日から15日までの10日間「よくみせて ちいさなきみの おおきなて」をスローガンに「春の全国交通安全運動」を実施しています。

本運動は次の項目を重点に取り組みます。

① 自転車の安全利用の推進



子供たちに黄色い羽根を配る交通安全母の会

- ② 子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ③ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④ 飲酒運転の根絶

毎年、春の全国交通安全運動の時期に黄色い羽根を配布しています。この黄色い羽根運動は、昭和30年5月に岩手県で起きた大事故がきっかけでした。

北上市内の国道の橋で、修学旅行から帰る途中の児童を乗せたバスが、運転を誤り川に転落。12人の死者と30人の重軽傷者を出した大事故でした。二度とこのような事故が起こらないよう願いを込め、手軽にPRできる交通安全のシンボルはないかと

考え付いたのが黄色い羽根でした。

その後、岩手県発祥の黄色い羽根運動は、全国へ広がりました。

この運動を通じて、皆さん一人一人が交通安全について考え、交通ルールを遵守し、安心した暮らしを目指していきましょう。

犯罪 鍵をしっかりと掛けて 被害を防ぎましょう

春の地域安全運動は、4月6日から15日までの10日間「なくそう犯罪ふやそう笑顔 みんな大好き岩手県をスローガンに実施しています。本運動は次の項目を重点に取り組みます。

- ① 特殊詐欺の被害防止
- ② 子供と女性の安全確保
- ③ 鍵掛けの励行

平成29年中、県内の住宅に侵入され盗難被害にあった131件のうち、91件(約7割)は鍵を掛けていませんでした。そのほか、乗り物の盗難も多発しています。鍵を掛けることは、犯罪を誘発させない、加害者を作らないことにもつながります。「ここは大丈夫」と油断せず、自宅や車、自転車などの鍵掛けを徹底しましょう。

安全 花や山菜を楽しむ季節 山岳遭難にはご注意ください

山の緑が芽吹き始める春は、山菜採りなどの登山者が増え、遭難事故が発生する季節です。

平成29年度中、県内では49人が遭難し、うち10人が亡くなりました。遭難者のうち9人が4月、5月のいわゆる春山の登山と山菜採りが目的で、うち4人が熊に襲われました。昨年のゴールデンウィーク期間中(4月29日から5月7日)は、登山1人と山菜採り1人の計2人が遭難しています。

山岳遭難に遭わないため、次のことに注意しましょう。

- ① 笛、鈴、ラジオなど熊よけ装備の携行
- ② 無理のない登山計画
- ③ 携帯電話や食糧、雨具などの携帯
- ④ 気象情報を事前に確認
- ⑤ 自分の体力、健康状態に応じた行動
- ⑥ 日帰り登山では日が暮れる前に下山
- ⑦ 万一遭難したら、夜間の行動は控え翌朝まで待機

準備をしっかりと、春山登山や山菜採りを楽しみましょう。